並盛中同窓会 裏の幹事達

雪神

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

並盛中窓会 裏の幹事達

【Nコード】

N4385BA

【作者名】

雪神

【あらすじ】

ボンゴレ10代目を正式に継承し、イタリアに住むツナ達に通の手紙が来ます。中には、母からの手紙とはがきが一通入っていました。

それは同窓会の招待状、つかの間の休息を楽しみたいが行けないツナにリボンがした行動とは！？

しかも、昔少し係わりのあるやくざが係わっているらしくて！？

プロローグ 一通の手紙

注意：ツナ達（雲雀・骸以外、骸は結構帰ってくるが）イタリア（ボンゴレ本部）に住んでいます

お母さん（奈々）はボンゴレのことを知っている設定で

ツナは目の前の書類を相手に悪戦苦闘していた。ハンコを押しても押しても減らない書類の山をツナは「いっそ、燃やすか……」と、意識がないうちにぼつそとつぶやいた。そして、目の前の手紙を手を取った。

「あて先は……くすっ」

ツナは笑いをこぼした。すると

「なにが面白いんだ？ダメツナが」

「リボン……ダメツナはやめろよ」

ツナが仕事をしている隣で優雅に100万ぐらいするティーカップでカプチーノを飲みながら言った。

「で、なんだよ。その手紙は……！さっさと答えるよ……！」

といって愛銃を向け手紙を打った。しかし、ツナはひょいと手を動かし銃をよけた。

「……ちっ……ちっ……！」

「リボンさん、今舌打ちが聞こえたのは聞き流しておきますが、この手紙日本の母さんからだけど（黒笑）」

「……内容は？」

リボンが聞いた。すると

「さあ？」

と言って、封筒を開いた。

ツ一君へ

ツ一君元気ですか？私は元気ですよ。くれぐれも死んではだめよ
無茶はしないでね。

本題に入ります。実はね同窓会のはがきが来たのよ。私が返すのは
なんだからね、ツナ君が返して頂戴ね、よろしくお願いしますね。
たまには日本に帰ってきなさい、お父さんといいいあなたといいた
まにしか帰ってこないのだから。帰ってくるときに電話してくれた
らごちそう作って待ってます。

p.s ツ一君達がイタリアに住んでいるのは黙っておきました。
怪しまれたらいけないからね。

それと、これは獄寺君達にも送ってあるからね

母より

「だつてさ。」

とくすつと笑った。

「久しぶりにうれしそうな顔したな。」
と笑うリボン。

「だけどな・・・」
顔をしかめるツナ。

「もう一枚のはがきが問題なんだよね。」
と笑うのだった。

初めまして、雪神と申します。このたび、初投稿でございます、
以後お見知りおきを。

家庭教師ヒットマンの10年後の世界の同窓会ネタを書くことになりました。

似た作品がありますがそこは許可を取っております。

けっこう、長編になりそうです、長々とご覧ください。

では失礼します。

はがきの内容

「なぜ、嘘の微笑みを浮かべる？」
リポーンが聞いた。

「ははっ、ばれました？さすがリポーン、営業スマイルになれちゃったみたい（黒笑）」

「それは、営業スマイルじゃないだろ？黒いオーラぶんぶんだぞ（黒笑）」

同じ黒笑でかえすリポーン、そして

「リポーンこそ。……………はがきに書いてある日時がね……………」

内容はこうだ

みなさん、どうお過ごしでしょうか？

このたびは、並盛中の同窓会を開くことになりました。

日時は下のようにになりました。参加できるかできないかを記録し送り返してください。

日時

1月15日（日） 11時から4時まで

場所

並盛ホテル 10階大広間

参加できる

参加できない

幹事

黒川 花

笹川 京子

とのことだった。

「この日？会談なんだよね。たぶん罠だけど」と悔しがっていた。

「へえ」

にやりと笑うリボン。ツナは

「こいつなにかたくらん出やがる」

とひそかに思う。

「俺ちよつと出てくる。日が沈む前には戻る」

といって、部屋を出て言った。そのあとにリボンと入れ替わりで入ってきた者達がいた。

はがきの内容（後書き）

第2話です。楽しんでもらえたでしょうか？

やけに、文が短いです……。すみません。

頑張って書こうと思しますので、よろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4385ba/>

並盛中同窓会 裏の幹事達

2012年1月12日08時54分発行